

平成30年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」  
事業報告書



## 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」事業について

琉球大学は、平成 27 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されました。

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業とは、研究環境のダイバーシティを高め、もって優れた研究成果の創出につなげるため、女性研究者のライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や女性研究者の研究力向上のための取組および上位職への積極的登用に向けた取組を支援するもので、事業期間は平成 27 年度から 6 年間です。

琉球大学は、本事業の目標と計画を次の通り掲げています。

### 【目標】

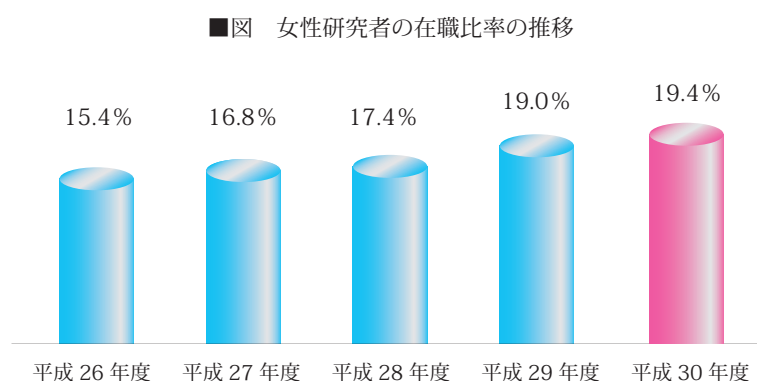
1. 女性研究者の採用比率の向上（25%以上）
2. 大学全体の女性研究者の在職比率の向上（19%）
3. 女性研究者の上位職（教授職および役員）比率の向上

### 【計画】

1. 女性研究者を安定的に確保する人事プロセスの確立
  2. 女性研究者の研究活動に対する支援体制の継続
  3. 組織運営および研究プロジェクトを牽引する女性リーダーの育成
- を三本柱とする行動計画を策定し、支援体制の拡充、人材システムおよび人事プロセスを含む大学マネジメントを推進する。

## 女性研究者の在職比率

平成 27 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の採択以降、女性研究者の在職比率は着実に上昇しています。



## 活動報告

### 平成30(2018)年度

- 5/1 平成30年度育児サポート・サービス利用料補助事業 開始
- 5/1 平成30年度病児・病後児保育利用料補助事業 開始
- 5/1 平成30年度女性研究者介護帰省費用補助事業 開始
- 6/1 平成30年度第1期研究活動等支援員制度 開始
- 6/6-8/10 第1期国際学会派遣費用補助事業および英文校閲費用補助事業 募集
- 6/26 国立大学法人琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金 制定
- 7/3 平成30年度女性教員短期研究専念制度（試行）利用者決定
- 8/1-7 夏休み学童保育2018 開催
- 8/21-10/15 国立大学法人琉球大学岸本基金寄附金 女子大学院生対象グローバル人材育成事業 募集
- 9/14 第10回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 宮崎「九州・沖縄（ここ）から拓くダイバーシティ推進の新たな地平」共催
- 10/23-12/27 第2期国際学会派遣費用補助事業および英文校閲費用補助事業 募集
- 11/1 平成30年度第2期研究活動等支援員制度 開始
- 12/6 国立大学法人琉球大学岸本基金寄附金 女子大学院生対象グローバル人材育成事業 開始
- 12/27-1/31 2019年度女性教員短期研究専念制度 募集
- 1/19-20 大学入試センター試験託児室 開設
- 2/13,22 かなさん介護セミナー「認知症サポーター養成講座」開催
- 2/18 女性研究者採用部局に対するインセンティブ経費の配分
- 2/22 平成30年度教員ポスト戦略的再配分（重点改革推進枠）「自然科学系分野における女性教授の限定公募」実施部局 決定
- 3/4 競争的資金獲得セミナー「科研費採択へのアプローチ」開催
- 3/5 英語でおこなうリーダーシップ研修「共に成長するためのコミュニケーション術～多様な人材が支え合う文化を目指して～」開催
- 3/22 ダイバーシティ推進セミナー「多様性のある社会～スウェーデンからの報告～」開催
- 3/23-24 「サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ サイエンスキャンプ -Vol.8-」開催（沖縄科学技術大学院大学との共催 於：恩納村）
- 3/26 スキルアップセミナー「タイムマネジメント～ワークライフバランスを叶える時間管理法～」開催
- 3/29 ニュースレター「うない通信 Vol.14」発行

# ダイバーシティ研究環境整備のための取組

## 研究活動等支援員制度

出産・育児または介護等のライフイベントに携わる研究者に対し、研究時間を確保し教育研究活動の活性化を促進するために研究補助員を配置する「研究活動等支援員制度」を実施しました。

本制度を利用する教員は、教育および研究支援を行う研究補助員に対し、自らの研究やキャリア形成を考える手助けとなるよう監督・指導をおこない、次世代の研究者育成に努めました。

### ■ 申請対象者

本学に在職する専任教員、特命教員、特任教員のうち次のいずれかに該当する者。

ただし、本人または配偶者（※）が産前産後休暇中、育児休業または介護休業中の場合は除く。

※届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。

- ① 女性研究者で、諸事情（例：ライフイベントや学内委員会委員等、社会貢献・地域貢献等）により研究時間を十分に確保することが困難な方
- ② 配偶者が常勤の研究者または指導的地位（役員や管理職等）である男性研究者のうち、次のアからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方
  - ア 配偶者が妊娠中である方
  - イ 小学校6年生までの子どもを養育している方
  - ウ 要支援または要介護の認定を受けている二親等以内の家族の介護がある方
  - エ その他、上記に準ずる理由がある方（例：難病、障がい者等の家族の介護がある等）
- ③ 独身の男性研究者で、上記②のイからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方

■表 平成30年度研究活動等支援員制度 利用者の内訳（人数）

	平成30年度 (第1期)	平成30年度 (第2期)
	教育・研究	教育・研究
申請数	20 (2)	10 (0)
採択者数	8 (0)	8 (0)

※（ ）の数字は、内男性

## 育児サポート・サービス利用料補助事業

本学の教職員の仕事と家庭生活の両立を支援するため、育児支援におけるサポート・サービスを利用する場合の利用料の一部を補助しました。女性教員6名の利用登録があり、この内3名の利用がありました。

### ■ 利用対象者

本学に在職する職員（非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。）で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就労している場合のほか、配偶者の病気入院等により、育児サポート・サービスを利用しなければ就労することが困難であると認められる方。ただし、補助事業の対象は要勤務日における利用に限り、産前産後休暇や育児休業等の休暇取得者や休業中の者は除く。

また、補助対象可能な時間帯については、要勤務日における午前7時～午後10時までとし、補助対象外となる時間帯および宿泊の利用については、自己負担とする。

### ■ 対象となる乳幼児等

- (1) 0歳から小学校6年生までの乳幼児・児童
- (2) 身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまでの子

### ■ 補助の対象となるサポート・サービス内容

- (1) 保育所、幼稚園、小学校及び放課後児童クラブ等（以下「保育施設等」という。）の保育開始前や、終了後の子どもの預かり
- (2) 保育施設等までの送迎
- (3) 児童が通う学校が休みの時、保育施設等による休み時の子どもの預かり
- (4) 病児・病後児の預かり

※同一家庭以外の複数の乳幼児等を同時に保育する場合は補助対象外とする。

## 病児・病後児保育利用料補助事業

本学職員の就業および家庭生活の両立を支援することを目的に、本学に在職する職員が別に定める病児・病後児保育事業を実施している病院等を利用した場合に限り、係る利用料の一部を補助しました。8名（教員7名、職員1名）の利用登録があり、この内3名の利用がありました。

### ■ 利用対象者

本学に在職する職員（非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。）で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就労している場合のほか、特段の事情（配偶者の病気入院等）により、病児・病後児保育を利用しなければ就労することが困難であると認められる方。

### ■ 対象となる乳幼児等

- (1) 0歳から小学校6年生までの乳幼児・児童
  - (2) 身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまでの子
- ※ただし、病児・病後児保育事業を実施している各病院等の規定に準じる。

## 夏休み学童保育 2018

平成30年8月1日～8月7日の土日を除く5日間、夏休み学童保育を実施し、19名の児童（保護者17名）を受け入れました。

農学部の平川守彦准教授による「琉大ミニミニ動物園」や、教育学部美術教育専修の永津禎三教授と学生の皆さんによる「草木染」や「紙彫刻」、教育学部英語教育専修の学生の皆さんによる「Kid's English!」といった琉球大学オリジナルの体験型プログラムの実施をはじめ、会場に本学教育学部附属中学校の教室を提供いただくなど、学内から多大なご協力をいただき実施することができました。「琉球大学プログラムを楽しめた」、「来年もまた参加したい」などの感想が寄せられ、子どもたちだけでなく保護者にも大変好評なプログラムとなりました。



## 女性研究者介護帰省費用補助事業

仕事と介護の両立を支援するため、本学に在職する女性研究者を対象に介護帰省費用補助事業を実施し、県外または離島に暮らす親の介護のため帰省する際の費用（航空運賃）の一部を補助しました。採択された3名が利用しました。

### ■ 利用対象者

本学に在職する女性研究者（社会保険加入の非常勤職員、日本学術振興会特別研究員（PDまたはRPD）を含む。）で、要介護状態にある家族を介護するため帰省する必要がある方。配偶者（届け出をしないが、事実上、婚姻関係と同様の事情がある方を含む。）を有する場合は、原則として当該配偶者が有職者である方。ただし、各航空会社が提供するいずれかの介護帰省割引制度（以下、「介護帰省割引制度」という。）に登録し、これが適用される方に限る。

### ■ 補助対象となる範囲

- (1) 申請者の「2親等以内の親族」が要介護・要支援認定を受けている場合
- (2) 介護帰省割引制度により航空券を購入、利用した場合
- (3) 介護帰省割引制度の登録者で介護帰省割引航空券を下回る価格の航空券を購入、利用した場合
- (4) その他、介護帰省割引制度に準じ、本学において所定の手続きにより必要と認めた場合

### ■ 補助の内容

那覇空港から発着する各航空会社の路線のうち、介護帰省割引制度に定めた区間に限り、申請者本人の航空券代に対して補助する。

## かなさん介護セミナー

介護への理解を深め、仕事と介護を両立できる職場環境の整備を促進することを目的に、かなさん介護セミナー「認知症サポーター養成講座」を開催しました。2回の講座には、延べ21名の教職員が参加しました。

### ■ かなさん介護セミナー「認知症サポーター養成講座」

日時：平成31年2月13日（水）

2月22日（金）

講師：百次 由美子氏（那覇市地域包括センター松島 保健師）



## 入試時における託児室開設

本学の教職員の仕事と家庭生活の両立支援として、「大学入試センター試験（平成31年1月19日、20日）」における一時託児室を開設しました。2日間で延べ6名の教職員が利用し、10名の幼児・児童を受け入れました。



# 女性研究者の研究力向上のための取組

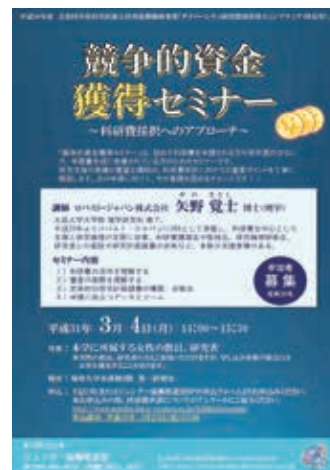
## 競争的資金獲得セミナー

本学の教員および研究者を対象に、競争的資金獲得セミナーを開催しました。科研費の変更点や申請書作成のポイントを学ぶ機会とし、16名が参加しました。

### ■ 「競争的資金獲得セミナー～科研費採択へのアプローチ～」

日時：平成31年3月4日（月）

講師：矢野 覚士 氏（ロバスト・ジャパン株式会社）



## スキルアップセミナー

女性研究者を対象に、研究力とモチベーションの向上に繋げるワークライフバランスの実現を目的としたスキルアップセミナーを開催し、11名が参加しました。

### ■ 女性研究者のためのスキルアップセミナー

#### 「タイムマネジメント

#### ～ワークライフバランスを叶える時間管理法～

日時：平成31年3月26日（火）

講師：四元 絵美 氏（株式会社インソース）



## 英文校閲費用補助事業・国際学会派遣費用補助事業

女性研究者の研究力強化とキャリアアップを推進することを目的に、学術雑誌に論文を投稿する際の英文校閲にかかる費用および国際学会等で研究成果発表をおこなうために必要な経費を補助しました。

### ■ 平成30年度採択実績

- ・英文校閲費用補助（上限2万円） 3名
- ・国際学会派遣費用補助（上限5万円） 3名

# 女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組

## 琉球大学教員ポスト戦略的再配分（重点改革推進枠）による女性教授限定公募

女性教授の比率向上を図るとともに、本学が掲げる数値目標の達成に向けて事業推進の加速と強化を目的に、平成30年度琉球大学教員ポスト戦略的再配分（重点改革推進枠）を活用した新たな方策として、特に女性教授比率の低い自然科学系部局等を対象とする「自然科学系分野における女性教授限定公募枠」を設け、学内募集をおこないました。

教員人事学長諮問委員会による厳正なる審査の結果、医学部附属病院による女性教授限定公募の実施が決定しました。

## リーダーシップ研修

本学の女性教員を対象に「英語でおこなうリーダーシップ研修」を実施し、学内の女性教員9名が参加しました。

組織だけでなく研究者自身も成長することのできるリーダーシップの在り方について、グループワークを交えながらリーダーシップを表現する技術を学びました。

### ■ 「共に成長するためのコミュニケーション術 ～多様な人材が支え合う文化を目指して～」

日時：平成31年3月5日（火）

講師：ミシェル・トンプソン氏（沖縄科学技術大学院大学多様化・職場厚生支援セクションシニアマネージャー）



## ダイバーシティ推進セミナー

本学の全教職員を対象とするダイバーシティ推進セミナーを開催しました。男女共同参画社会実現の先進国であるスウェーデンの大学における男女共同参画および女性教員登用について学び、女性研究者への支援について理解を深めました。学内および学外から19名の参加がありました。

### ■ 「多様性のある社会～スウェーデンからの報告～」

日時：平成31年3月22日（金）

講師：ルース・マンネルクヴィスト氏（スウェーデンウメオ大学 社会科学部長・教授）  
ヨーレル・グランストリヨム氏（スウェーデンウメオ大学 法学研究科長）

共催：科研費基盤研究（C）「ポジティブ・アクション実効化のための理論的・比較政策的研究」（琉球大学大学院法務研究科 教授 矢野 恵美）





## 平成30年度インセンティブ経費

公募により女性研究者を採用した部局等に対し、インセンティブ経費を配分しました。経費は教育や研究活動の環境整備等に使用されました。

### ■ 配分された部局（採用順）

- ・人文社会学部
- ・教育学部
- ・グローバル教育支援機構
- ・医学部附属病院
- ・国際地域創造学部
- ・農学部

## 裾野拡大、地域・産官学との連携

### 琉球大学岸本基金寄附金 女子大学院生対象グローバル人材育成事業

本学の女子大学院生を海外の研究機関等に派遣し、国際的な研究環境でのリサーチ活動や、異文化の学修環境に触れ多様な学問文化を経験することを通して、将来グローバルに活躍する次世代の女性研究者を養成することを目的とする「琉球大学岸本基金寄附金 女子大学院生対象グローバル人材育成事業」を新たに実施しました。4名の女子大学院生が採択を受け、渡航にかかる費用の一部を支援しました。

### ■ 採択者

- ・上原 真名美（大学院保健学研究科 博士後期課程）
- ・登 圭紀（大学院保健学研究科 博士前期課程）
- ・大城 史帆（大学院理工学研究科 博士前期課程）
- ・稲田 真倫（大学院法務研究科 専門職学位課程）



現地調査員との集合写真

### 女子中高生理系進路選択支援事業

平成30年度JST女子中高生の理系進路選択支援プログラムの一環として、「サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ サイエンスキャンプ Vol.8」を実施し、40名の女子中高生が参加しました。

講義や実習を通して最先端の科学を英語で楽しく学び、科学に対する興味を深め、将来の進路選択の一助となる機会を提供しました。また、理系分野への進学や専攻の選択、大学生活、研究の面白さなどについての女性研究者や女子大学生・大学院生による講演と、参加者との交流もおこなわれました。

### ■ 「サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ サイエンスキャンプ Vol.8」

日時：平成31年3月23日（土）～24日（日）

会場：沖縄科学技術大学院大学

講師：マリアナ・ベラスケ・ボルジェス

（沖縄科学技術大学院大学生態・進化学ユニット 博士）

宮城 一菜（琉球大学農学部 准教授）

共催：沖縄科学技術大学院大学



# 基金・広報活動

## 「琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金（うない基金）」

新たに、特定基金「琉球大学うない女性研究者・リーダー育成基金」、通称「うない基金」を創設しました。

本基金は、次代を拓く優秀な女性リーダーを輩出することにより、地域社会・国際社会に貢献するとともに、男女共同参画ならびにダイバーシティを推進することを目的として、本学に所属する女性研究者および女子学生の教育研究活動ならびに人材育成に関する事業を助成するものです。

「うない」とは、沖縄の独特のことで「姉妹」を意味しますが、現代の沖縄では「女性たち」、あるいは女性たちの主体的な結びつきや支え合いという意味を込めて様々な用いられています。こうした「うない」の精神こそが、全ての人々が活躍できる未来社会創造への原動力となると信じ、本特定基金の呼称を「うない基金」としました。

◇寄附金のご案内◇ 1口 1,000円

趣旨をご理解いただき、複数口（5口以上）でご協力頂きますと幸いです。

◇寄附の方法◇ 琉球大学 Web サイトから、クレジットカード決済によるお手続きが可能です。

銀行口座振込でもご寄附いただけます。

<https://payment.kikin.jim.u-ryukyu.ac.jp/u-ryukyu/entry.php>

◇寄附者ご芳名◇ ジェンダー協働推進室ホームページ等に、ご寄附いただいた方々のご芳名を掲載いたします。

また、高額寄附者への顕彰も予定しております。

### 女性研究者の リーダーシップ育成・支援

- ・学会等へのオーガナイザー派遣
- ・英語によるリーダーシップ研修

### 若手女性研究者の 研究力強化・支援

- ・英語論文等スキルアップセミナーの開催
- ・競争的資金獲得セミナーの開催 等

### 女子学生の育成・支援

- ・「うない奨励賞」の授与
- ・研究力向上のための支援

### 地域における男女共同参画推進 及び次代を担う女性人材の育成

- ・他機関との連携による次世代育成事業

### 女性研究者が安心して 働ける職場環境の整備

- ・ライフイベント等との  
両立のための環境整備

## 情報発信（ニュースレターの発行など）

ニュースレター「うない通信 Vol.14」を発行しました。

● <http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/guidebook02/>

HP では最新の情報がご覧いただけます。

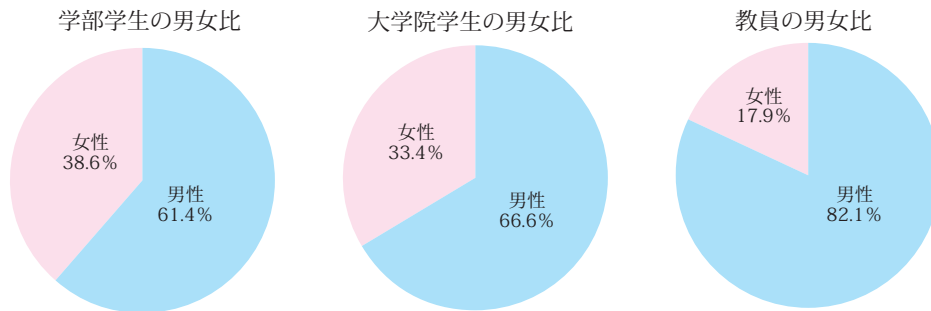
● <http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/>



# 数値でみる琉球大学

## 学生・教員の男女比率（学部学生・大学院学生・教員）

■図 琉球大学の男女比（学部学生、大学院学生、教員）／出典：平成 30 年度学校基本調査



## 部局別女性教員の在職比率

■図 琉球大学の学部・研究科別女性教員の比率（平成 30 年 5 月 1 日現在）

